

2022年
11月01日
第1号

ほくとぴあ

第28回全国交流集会
東京現地実行委員会ニュース
発行責任者 奥山 信義
編集責任者 千葉愛一郎

—東京現地実行委員会挨拶 実行委員長 奥山信義—



全国のまなぶの仲間の皆さんお久しぶりです、お元気ですか。
コロナ感染拡大の状況下、第25回、第26回、第27回全国交流集会は断念せざるをえませんでした。「今回こそは」の決意も新たに、8月東京現地実行委員会が発足いたしました。

第28回全国交流集会は、従来の開催要項を大幅に変更しての開催となります。
コロナ感染の収束はいまだ見通せませんが、10月10日に第43回東京女性講座を『北とぴあ』会場にて53名の参加で成功裏に終えることができました。11月には県協連総会／労大総会が3年ぶりに東京で開催予定です。新自由主義下の厳しい情勢ですが、総会議案には全国の仲間の奮闘が多く報告されています。大衆学習運動の力で情勢を変えていきましょう！

来年5月『北とぴあ』会場で、全国の仲間をお待ちしています。

第28回全国交流集会 開催要項

と き：2023年6月10日（土）13時～19時予定

ところ：東京都北区「北とぴあ」15階 ペガサスホール

北区王子1丁目11-1 JR王子駅北口より徒歩3分

参加費：未 定

【東京現地実行委員会体制】

- ◎実行委員長：奥山 信義（東京県協連会長）
- ◎副実行委員長：福田 健二（東京西部県協会長）
- ◎ 々 ：千葉愛一郎（東京南部県協会長）
- ◎ 々 ：中村 久子（東京中部県協会長）
- ◎事務局 長：高井 豊治（東京西部県協専従）
- ◎事務局 次長：佐久間和俊（東京東部県協会長）
- ◎ 々 ：檜崎 文雄（東京三多摩県協会長）
- 実行委員：島田 実（東京東部県協事務局長）
- 実行委員：田口勝義（東京西部県協事務局長）
- 実行委員：小泉勝久（東京南部県協事務局長）
- 実行委員：宮田光市（東京北部県協事務局長）
- 実行委員：古城育子（東京中部県協事務局長）
- 実行委員：渡部昌弘（東京三多摩県協事務局長）
- 実行委員：芳賀芳美（県協連・編集運営委員）
- 実行委員：高原康子（県協連・女性運営委員）

【実行委員会 任務分担】

- ◎統括責任者：奥山東京県協連会長
- ◆渉外担当：高井専従、高原北区在住
- ◆財政担当：檜崎文雄
- ◆ニュース班：現地実行委員会ニュース
作成＝ 11月、1月、3月、5月、
◎千葉愛一郎、○福田 健二、
●島田 実、●宮田 光市、
●古城 育子、●渡部 昌弘、
●芳賀 芳美、
- ◆機動班：会場案内、会場設営、配布
物、感染対策など
◎佐久間和俊、○中村 久子
●島田 実、●田口 勝義、
●小泉 勝久、●宮田 光市、
●古城 育子、●渡部 昌弘、

JR王子駅北口徒歩3分にそばえ立つ

「北とぴあ」は、北区の産業発展と区民の文化水準



の高揚を目的として建設された北区のシンボルです。

また、最上階の17階は展望ロビーとなっており、北区の景色を一望することができます。

15階に「ペガサスホール」があります。正面玄関から入り、左手にエレベーターがあります。

〔会場案内図〕



〔ペガサスホール〕(北とぴあ 15 階)



★ 舞台は、可動式です。

幅 3.6m／奥行 2.4m／ステージ高 0.3m

★ 長机に椅子3個で、120名を予定している。

《題字》 ほくとぴあ の由来

「ほくとぴあ」に集おう

「ほくとぴあ」の「とぴあ」とは「郷・さと」という意味です。全国交流集会の会場が「北とぴあ」でもあり、その意味の「さと」で集うように充実した交流をと願い、現地ニュースの名前をひらがなで「ほくとぴあ」としました。

3年間、新型コロナで全国交流集会が開催できず、ブロック内でも交流がままならない事もあり、忸怩たる思いがありました。その中でも各県協では、オンライン(リモート)等を駆使して仲間と共に進み、討論を継続してきました。

2023年は、どんな年になっているのでしょうか。心も体も「とぴあ=さと」での交流によって、次への「力」としていくことを願い、東京ブロックは現地実行委員会として進めていきます。

★JR 王子駅北口より徒歩3分

★地下鉄南北線 王子駅5番出口直結

★都電荒川線 王子駅前駅より徒歩 5 分

眺望も最高!!



★ 15階 EV を出ると「ホワイエ」(10m×10m)があり、受付と展示物などに活用します。

全国の仲間をお待ちしています

